

作品を見て楽しむだけでなく、触れて楽しむことも出来た為、彫刻に興味関心を持って下さる方が多かった
北川太郎

活動の目的

石彫作品の魅力を広く一般に伝えるとともに、石彫の可能性を探る。

活動の内容及び経過

彫刻作品20点（野外に大型作品3点、室内に大型作品4点、室内に中小型作品13点）を展示。作品は見て楽しむだけでなく、手を触れることも拒まない展示とした。そのため、子どもが作品に登ったり、野外作品に腰掛ける人も多く、彫刻に興味関心を抱いて頂くきっかけとなった。ギャラリートーク（8/3）、体感型ワークショップ、石でモザイク作品を造る（8/11）、国立民族学博物館准教授広瀬浩二郎氏と体感型作品鑑賞会（8/31）を実施。

活動の成果・効果

来館者3,000名以上と予想以上の展覧会来館者があり、彫刻作品の魅力を広く一般に伝えることが出来た。

今後の課題と問題点

彫刻作品に靴を履いたまま登る人を散見した。

- 代表者：北川太郎 ●所在地：兵庫県姫路市大津区天満
- E-MAIL：Kitagawataro728@yahoo.co.jp
- URL：https://kitagawataro728.wixsite.com/ryakureki2

